

22 (2010)
千葉市の図書館
図 1

2010

千葉市の図書館

(平成21年度運営概要)

千葉市教育委員会

目 次

1	千葉市図書館の概要	1
2	略年表	2
3	組織・職員数	4
4	千葉市図書館一覧	5
5	予 算	7
6	図書館運営状況	8
	(1) 図書館資料整備状況	8
	(2) 利用者登録状況	22
	(3) 図書館資料貸出状況	24
	(4) 予約件数	35
	(5) レファレンス件数	36
	(6) 複写サービス	36
	(7) 障害者サービス	37
	(8) 千葉市図書館ホームページアクセス件数	38
	(9) 有料宅配利用状況	38
	(10) 来館者数	38
	(11) 移動図書館	39
	(12) 団体貸出利用状況	40
7	事業活動	41
	(1) 企画展示	41
	(2) おはなし会（定例）	42
	(3) 主催行事	43
	(4) 学校等関連施設との連携活動	47
	(5) 刊行物	48
8	コンピュータシステム	49
	(1) 導入経緯	49
	(2) 平成13年度以降の展開	50
	(3) 各図書館端末台数	51
	(4) 千葉市図書館システム構成図	52
9	千葉市図書館及び移動図書館ステーション配置図	54
10	千葉市読書施設等一覧	56
	(1) 文庫	56
	(2) 読書会・その他	57
11	図書館サービス状況	58
付	公民館図書室運営状況	59

1 千葉市図書館の概要

千葉市図書館のあゆみは、昭和 29 年に児童会館（千葉神社前の通町公園内）に児童図書をおいたことにはじまる。昭和 34 年、ライトバンを 1 台購入し、文庫箱にて青少年団体（子供会）に巡回文庫を開始した。昭和 37 年 8 月に移動図書館車を購入し、市内 27 か所を 10 日ごとに巡回した。昭和 40 年、社会センター（院内町 平成 12 年廃止）へ移り、北部図書館の開館まで活動した。

施設としての図書館は、昭和 47 年 6 月の北部図書館開館が始まるが、これに先立ち昭和 45 年 3 月に「千葉市立図書館網計画」を策定した。この計画に沿って、南部図書館、東部図書館、こてはし図書館、高洲図書館、みやこ図書館及び分館を順次整備した。

昭和 55 年 10 月には、市民サービスの一層の充実のために、コンピュータシステムの導入が提案され、昭和 63 年 3 月、高洲図書館とその分館からコンピュータ化に着手して以来、新設館は開設時から、既設館は順次、コンピュータ化が進んだ。

平成 8 年までに、みやこエリア（みやこ図書館・高洲図書館・南部図書館）、東部エリア（北部図書館・東部図書館）、こてはしエリア（こてはし図書館）の 3 エリアそれぞれがホストコンピュータを持ち、パススルー方式による全館オンライン化が完了した。これにより、リアルタイムでの資料検索や貸出、返却業務が可能となった。

一方、分館担当者 1 名で週 3 日の開館をしていた公民館併設分館は、平成 5 年 4 月、公民館図書室となり、公民館職員による運営となった。

平成 11 年 11 月には、1 台のホストコンピュータによるオンライン化が完了し、どこの利用者用端末機からでも、市民が市の全蔵書を検索することが可能となった。

平成 12 年 4 月、緑図書館の開館により各区 1 館体制が整い、これを機に、中央区のみやこ図書館を除き、区名を地区館の名称とした。

中央図書館については、平成 3 年に基本構想がつくられ、平成 6 年 6 月、「(仮称) 千葉市中央図書館・生涯学習センター等複合施設整備計画」が策定され、平成 13 年 4 月に開館した。これにともない、移動図書館も中央図書館に移った。

さらに、それまで職員が週 1 回運搬していた相互貸借業務は、市内を 5 コース（現在 7 コース）に分けて配送するメルカーの運行により、中央館、地区館、分館及び公民館図書室の連携が確立され、「どこでも借りられ、どこでも返せる」ネットワークが整備された。

中央図書館では、開館初年の平成 13 年 4 月に、一部祝日の開館と夜間 9 時までの開館を試験的に行い、平成 14 年 4 月から、祝日開館・夜間開館を本格的に実施した。また、地区図書館分館の整備については、千葉市新 5 か年計画の中で推進し、美浜図書館打瀬分館が平成 14 年 4 月に開館、改築事業を進めてきた花見川図書館花見川団地分館が平成 17 年 4 月に開館、若葉図書館泉分館が平成 18 年 3 月に開館した。

図書館システム及び端末等の更新は、平成 19 年 3 月に実施した。これにより、図書館館内資料検索機で、利用者自らが資料の予約や図書の延長を行うことが可能となるとともに、4 月にはインターネット（パソコン・携帯）を通じての資料の予約や図書の延長及び自動応答電話を通じての図書の延長を行うことが可能となった。

また、同年 10 月、市民を対象に有料での図書館資料宅配サービスを開始した。

平成 22 年 3 月には、これからの図書館サービスのめざすべき目標と方針を定め、取り組むべきサービスの方向性を示した「千葉市図書館サービスプラン 2010～きて、みて、発見！身近で頼れるみんなの図書館～」を策定するとともに、平成 22 年 4 月からプランをスタートし、より一層の図書館サービスの充実に取り組んでいる。

2 略 年 表

1970. (S45)	3. 31	「千葉市立図書館網計画」策定
1972. (S47)	6. 1	北部図書館（現稲毛図書館）開館
	6. 26	千葉市立図書館協議会発足（委員 10 名）
	11.	国際図書館年記念昭和 47 年度全国図書館大会が千葉市で開催
	12.	千葉市書店協同組合設立
1973. (S48)	4. 1	北部図書館で資料の複写サービスを開始
	6.	電話によるレファレンス業務を開始
	11. 5	南部図書館（現白旗分館）開館（南部青少年センターに併設）
1974. (S49)	5. 1	南部図書館が市内で初のリクエストサービスを開始
	8. 1	東部図書館（現若葉図書館）開館
	11. 7	南部図書館土気図書室が開室（土気市民センター内）
1975. (S50)	3. 31	市立図書館の年間貸出冊数が 100 万冊を超える
	6. 10	東部図書館「ふるさとコーナー（全国の電話帳）」を開設
1976. (S51)	10. 13	東部図書館「おはなしのじかん」開設
1978. (S53)	2.	北部図書館の増改築工事
	5. 1	こてはし図書館（現花見川図書館）開館
	6. 20	東部図書館大宮分館開館
1979. (S54)	4. 1	市立図書館の資料費予算が 1 億円を超える
	6. 5	東部図書館更科分館開館 北部図書館千草台分館開館
	7. 1	市立図書館間の相互貸借開始
	7. 3	地域・家庭文庫への団体貸出開始
	7. 25	こてはし図書館花見川分館（現花見川団地分館）開館
1980. (S55)	1. 16	「公共図書館サービスネットワークの整備に関する調査」（文部省）実施（～24 日）
	6. 10	こてはし図書館さつきが丘分館開館 こてはし図書館検見川分館開館
	10. 2	千葉市立図書館協議会より「千葉市立図書館運営へのコンピュータ・システム導入について」答申
	10. 24	東部図書館西都賀分館開館
	11. 16	高洲図書館（現美浜図書館）開館（高洲コミュニティセンターに併設）
1981. (S56)	3. 31	市立図書館の年間貸出冊数が 200 万冊を超える
	6. 9	北部図書館草野分館開館 こてはし図書館幕張西分館開館
	6. 19	各図書館に大型活字本整備
	11. 1	障害者への図書のお宅配本サービス開始
1983. (S58)	2. 9	千葉市立図書館協議会から千葉市立中央図書館の建設促進についての建議
	6. 18	東部図書館若松分館開館 こてはし図書館長作分館開館
1984. (S59)	2. 15	千葉市立中央図書館基本構想検討委員会検討結果報告書の作成
	3. 31	「図書館関係法令規定集」発行
	6. 9	北部図書館山王分館開館 高洲図書館磯辺分館開館
1985. (S60)	6. 8	北部図書館緑が丘分館開館 北部図書館都賀分館開館
1986. (S61)	10. 1	コンピュータ導入による「図書館システムの構築について」—千葉市立図書館コンピュータシステム研究委員会研究結果報告書の作成
1987. (S62)	5. 20	高洲図書館幸町分館開館
	6. 6	こてはし図書館朝日ヶ丘分館開館
1988. (S63)	3. 10	図書館コンピュータシステム導入（高洲図書館、磯辺分館、幸町分館をオンライン化）
1989. (H 元)	7. 18	南部図書館越智分館開館及びオンライン化
	10. 1	高洲図書館幕張西分館をオンライン化
	11. 25	みやこ図書館開館及びオンライン化

1990. (H2)	3. 27 4. 25	南部図書館、南部図書館土気図書室をオンライン化 みやこ図書館で対面音訳開始
1991. (H3)	3. 5	北部図書館、千草台分館、草野分館、山王分館、都賀分館、緑が丘分館をオンライン化
1992. (H4)	6. 1	みやこ図書館生浜分館開館及びオンライン化
1993. (H5)	3. 1 4. 1	こてはし図書館幕張分館開館及びオンライン化 公民館併設分館（17館）が公民館図書室に組織替え 東部図書館西都賀分館の増改築
1994. (H6)	5. 6 4. 12	南部図書館あすみが丘分館開館及びオンライン化 こてはし図書館、花見川分館、さつきが丘公民館図書室、検見川公民館図書室、長作公民館図書室、朝日ヶ丘公民館図書室をオンライン化
1995. (H7)	6. 15 7. 15 4. 11	「（仮称）千葉市中央図書館・生涯学習センター等複合施設整備計画」の策定 高洲図書館幸町分館が公民館図書室に組織替え 北部図書館改築工事のため、図書館は小中台小学校で仮開館、また事務室・移動図書館は千葉市役所中央分室に移設
1996. (H8)	7. 21 10. 24 3. 26 4. 1	更科公民館泉図書室開設 更科公民館泉図書室をオンライン化 誉田公民館図書室開設及びオンライン化 東部図書館、西都賀分館、更科公民館図書室、大宮公民館図書室、若松公民館図書室をオンライン化
1997. (H9)	4. 1 4. 17	社会教育課に中央図書館開設準備室（課内室）開設 みつわ台公民館図書室開設及びオンライン化 北部図書館で対面音訳開始 北部図書館新館開館
1998. (H10)	4. 1	生涯学習部図書館開設準備室（課相当）に組織替え
1999. (H11)	4. 1	図書館が社会教育課より図書館開設準備室に組織替え
2000. (H12)	4. 1	緑図書館開館 南部図書館がみやこ図書館の分館（白旗分館）となる 図書館の名称変更
2001. (H13)	4. 1	千葉市中央図書館開館 障害者サービスとして郵送貸出開始（中央図書館） 一部祝日及び夜間の開館（中央図書館） 各図書館、公民館図書室間のメールカー及び県立中央図書館とのメールカーの運行開始
2002. (H14)	4. 1 4. 2	中央図書館が祝日開館・夜間開館を本格実施 美浜図書館打瀬分館開館
2003. (H15)	1. 5 2. 1	花見川図書館花見川団地分館改築工事のため、花見川第三小学校で仮開館 公共情報端末を全館へ1台設置
2004. (H16)	3.	千葉市子ども読書活動推進計画—おはなし・読書 ちばプラン—を策定
2005. (H17)	4. 1 10. 21	花見川図書館花見川団地分館が、市民センター・補導センター（現青少年サポートセンター）との複合施設として完成し、新たに開館 DVDをAV資料として閲覧、貸出サービスを開始する
2006. (H18)	1. 4 3. 25	移動図書館「いずみ号」更新 若葉図書館泉分館が、公民館との複合施設として完成し、開館
2007. (H19)	3. 1 4. 1	図書館システム及び端末等の更新 館内資料検索機で予約や貸出期限の延長ができるサービスを開始 インターネット（パソコン・携帯）で予約や貸出期限の延長ができるサービス、及び自動応答電話で貸出期限の延長ができるサービスを開始
2010. (H22)	10. 1 3.	市民を対象とする有料での宅配サービスを開始 「千葉市図書館サービスプラン2010～きて、みて、発見！身近で頼れるみんなの図書館～」を策定